

心のこもった地域福祉プロジェクト2020

—No.11 東松山市—

【事業の目的】

高齢者の「楽しみたい 働きたい 貢献したい」という思いを応援するために、関係機関や地域の方々と一緒に健康寿命の延伸や介護予防などを推進することを目的とした取組です。

【事業の内容】

主な事業は以下のとおりです。

①いきいきパス・ポイント事業

特定検診や健康づくりなどの市が指定する事業に参加することでポイントが得られ、一定のポイントが貯まると地域通貨「ぼたん圓」と交換することができます。

②地域福祉コーディネーター事業

市内7地区の市民活動センターに地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民の福祉相談や地域福祉連携の推進役を担います。

③支え合いサポート事業

地域住民が援助の必要な方の生活支援を行い、その謝礼を地域通貨で受け取る「地域支え合いの仕組み」です。事業内容を広く住民へ周知し、サポーターを増やすことにより、地域内でのサービスのマッチングの増加を図ります。

④認知症対策事業

認知症に関する正しい知識と理解を身につける学習機会を提供する「認知症サポーター小学生養成講座」を開催します。また、令和2年度中に70歳に達する方、75歳に達する方を対象に「認知症検診」を実施します。

【事業年度】

令和2年度～

【予算額(千円)】

29,427千円

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

高齢者がいつまでも元気に自分らしく暮らしていくためには、健康の保持増進に加え、いきがいくつくりと社会参加の機会の確保が必要です。長年にわたって社会を支えてきた高齢者が有する豊かな経験、知識、技能を積極的に生かしつつ、地域社会とのつながりが感じられる取組を施策横断的に実行することが求められています。

また、高齢化の進展に伴い認知症高齢者は更に増加し、令和7年（2025年）には高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれる中、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる体制の構築が必要です。

これらの課題に対応するため、「心のこもった地域福祉プロジェクト2020」により地域福祉の充実に資する施策を広く展開し、健康長寿社会の実現を目指します。

【事業のPRポイント】

①いきいきパス・ポイント事業

検診や健康づくり事業への参加をポイント化することで、高齢者の積極的な外出や市内イベント等への参加を促し、健康寿命の延伸を図ります。

②地域福祉コーディネーター事業

社会福祉協議会本部と連携し、社協支部の活動や地域の居場所づくりの支援など、地域の皆さんの身近な場所の相談窓口として地域福祉を進めます。

③支え合いサポート事業

高齢者等のちょっとした困りごとを地域のボランティアがお手伝いし、その謝礼を地域通貨で受け取ります。高齢者等の日常生活の安心確保、元気な高齢者の介護予防、地域経済の活性化という、いわば一石三鳥の効果のある仕組みです。

④認知症対策事業

認知症サポーター小学生養成講座を実施し、認知症に対する正しい知識を有する若年層の増加を図ります。また、認知症検診の対象を拡大することで、

受診率向上を目指し、認知症の早期発見・長期治療につなげます。

【事業実績・成果・今後の展開】

今年度の実績・効果等を検証し、今後の事業展開を検討します。

【参考資料】

〇心のこもった地域福祉プロジェクト2020概要

令和2年度当初予算
地域福祉
の充実

心のこもった地域福祉プロジェクト2020

～楽しみたい、働きたい、貢献したい～

高齢介護課

目的

高齢者の「楽しみたい、働きたい、貢献したい」の想いを実現し、その結果として、健康寿命の延伸や医療、介護費用の適正化を図る

対象

おおむね65歳以上の東松山市民

実施年度

令和2年度から
※一部の事業は令和7年度を目途に事業効果の検証を行い、以後の事業継続を再検討する

主な事業

- いきいきバス・ポイント事業
- 支え合いサポート事業
- 地域福祉コーディネーター事業
- 認知症対策事業

東松山版地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で、高齢者の心身の状況に応じた切れ目のない支援が提供される仕組みです

14

地域福祉
の充実

心のこもった地域福祉プロジェクト2020

いきいきバス・ポイント事業
10,703千円

特定高齢や健康づくりなどの市が指定する事業に参加することでポイントが得られ、一定のポイントが貯まると地域通貨「ぼたん圓」と交換できる。現行のいきいきバスサポート事業に付加する



5P:	500円	10P:	1,000円
15P:	2,000円	20P:	3,000円
25P:	4,000円	30P:	5,000円

地域福祉コーディネーター事業
(16,432千円)

市内7地区の市民活動センター（松山地区は市民福祉センター）に地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民の福祉相談や地域福祉連携の推進役を担う。※経費は社会福祉協議会が負担

福祉コーディネーターの主な役割

- ・支え合いサポート事業の推進
- ・地域サロンの立ち上げ及び運営の支援
- ・遺棄行動要支援者個別計画作成の支援

認知症対策事業
1,621千円

認知症サポーター小学生養成講座
市立小学校児童(4～6年生)に向けて、認知症に関する正しい知識と理解を身につける学習機会を提供する
※経費の一部は介護保険特別会計



認知症検診事業
認知症患者の早期発見・早期対応のため、無料認知症検診の対象年齢を現行の70歳に75歳を追加する

支え合いサポート事業
1,000千円

往來の支え合いサポート事業(350円/30分)に回数型サービス(100円/1回)を追加、短時間で低額のサービスを実施し、利用者の利便性を高める

サポーター 市内在住の人
利用者 高齢者のみの世帯
障害のある方のいる世帯
乳幼児を子育て中のひとり親世帯



16

〔 連絡先 〕

政策推進課 0493(23)2221(内線222)

目的

高齢者の「楽しみたい、働きたい、貢献したい」の想いを実現し、その結果として、健康寿命の延伸や医療、介護費用の適正化を図る

対象

おおむね65歳以上の東松山市民

実施年度

令和2年度から
※一部の事業は令和7年度を目途に事業効果の検証を行い、以後の事業継続を再検討する

主な事業

いきいきパス・ポイント事業

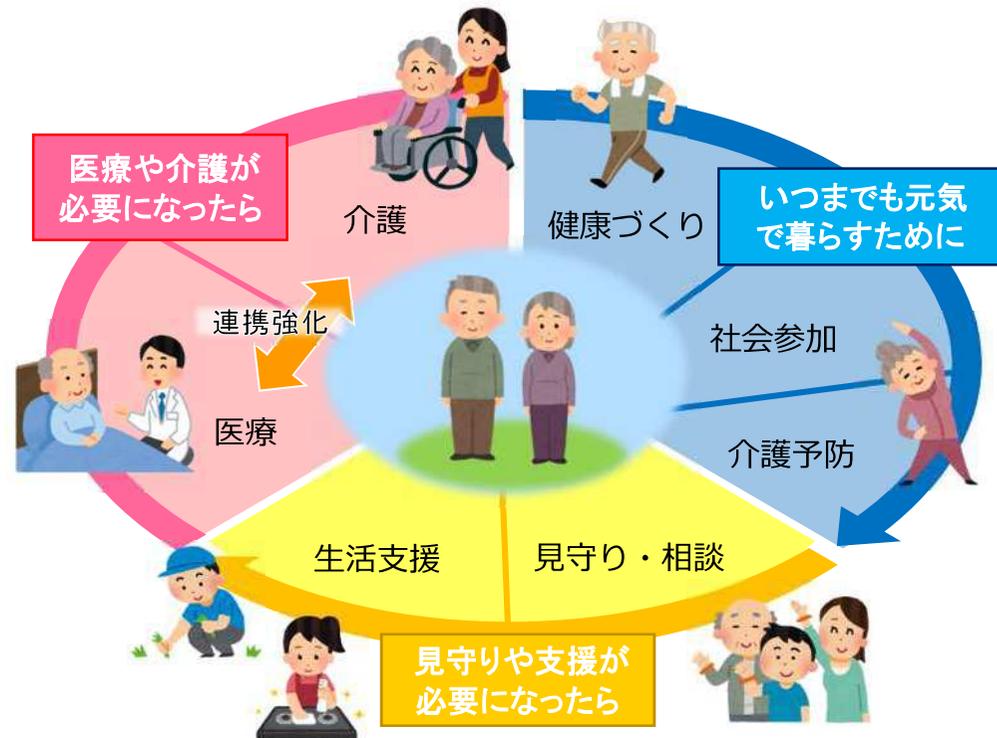
支え合いサポート事業

地域福祉コーディネーター事業

認知症対策事業

東松山版地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で、高齢者の心身の状況に応じた切れ目のない支援が提供される仕組みです



いきいきパス・ポイント事業 10,703千円

特定健診や健康づくりなどの市が指定する事業に参加することでポイントが得られ、一定のポイントが貯まると地域通貨「ぼたん圓」と交換できる。現行のいきいきパスポート事業に付加する



5P:	500円	10P:	1,000円
15P:	2,000円	20P:	3,000円
25P:	4,000円	30P:	5,000円

地域福祉コーディネーター事業 (16,432千円)

市内7地区の市民活動センター（松山地区は市民福祉センター）に地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民の福祉相談や地域福祉連携の推進役を担う。※経費は社会福祉協議会が負担

福祉コーディネーターの主な役割

- ・ 支え合いサポート事業の推進
- ・ 地域サロンの立ち上げ及び運営の支援
- ・ 避難行動要支援者個別計画作成の支援

認知症対策事業 1,621千円

認知症サポーター小学生養成講座

市立小学校児童(4～6年生)に向けて、認知症に関する正しい知識と理解を身につける学習機会を提供する
※経費の一部は介護保険特別会計



認知症検診事業

認知症患者の早期発見・早期対応のため、無料認知症検診の対象年齢を現行の70歳に75歳を追加する

支え合いサポート事業 1,000千円

往來の支え合いサポート事業（350円/30分）に回数型サービス（100円/1回）を追加。短時間で低額のサービスを実施し、利用者の利便性を高める

サポーター 市内在住の人

利用者 高齢者のみの世帯
障害のある方のいる世帯
乳幼児を子育て中のひとり親世帯

